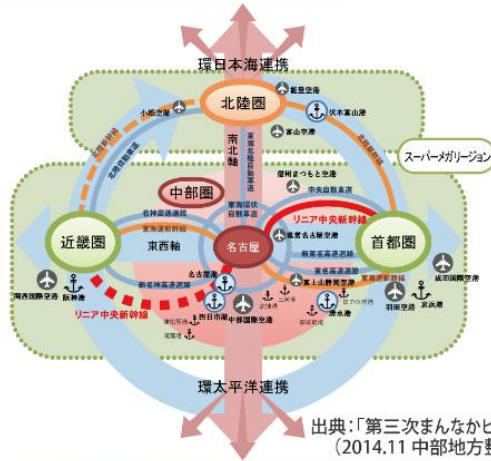


中川運河価値最大化プロジェクト構想

～“なごや”都市構造転換の嚆矢に～

高速交通ネットワークイメージ



リニア中央新幹線が生み出す
世界最大のスーパーメガリージョン
東京・名古屋・大阪

“なごや”は
巨大都市に埋没することなく
独自性を保ちつつ
国家的課題を担う都市への変身

“なごや”の特徴を活かし、
弱点を克服する大きな手掛かり
眠れる巨大なウォーターフロント
「中川運河」

中川運河の概要



中川運河の歴史的役割

- ◆ 名古屋港と名古屋駅を結ぶ物流大動脈(昭和5年から約40年間)
- ◆ 海から干潟、さらには農地へと変遷した沿岸一帯の治水の安定
- ◆ 人・モノづくりの一大集積地形成



連なる舳
名古屋港管理組合提供

都市機能集積が進む
名古屋駅周辺及び南部地域の
集中豪雨に対する脆弱性増大



確かなトリガーの誕生
「中川運河」の基本的上位計画への組入れ
(平成27年3月)

- ◆ 名古屋市地域強靱化計画
- ◆ 国土形成計画中部圏広域地方計画

JAPICとしての
価値最大化6つの提言

中川運河価値最大化戦略 具体的提言

1 松重閘門復活プロジェクトの次期社会資本重点整備計画組入れ

- ◆ 次期:2021年~2025年
- ◆ 堀川沿岸地域の満潮時の集中豪雨対策
- ◆ 堀川と中川運河一体の舟運観光の実現



2 護岸整備の戦略的促進と親水空間の創出

- ◆ 中川運河維持水位低下による治水機能向上
- ◆ 護岸整備の10倍加速及びささしま~長良橋間の優先的プロムナード整備
- ◆ プロムナードデザインの中川運河「らしさ」の追求



3 死魚発生防止のための松重ポンプ所の増強及び水質浄化に向けた市民参加型仕組みづくり

- ◆ 閉鎖性水域滞留時間の短縮による水質悪化防止
- ◆ 市民参加による水質浄化取り組み



4 沿岸プロジェクトと水上交通の相乗効果最大化を沿岸プロジェクトコンソーシアムによる水上交通への取り組み

- ◆ 現代版“七里の渡し”による「昇龍道プロジェクト」への貢献



5 文化発信拠点の構築

- ◆ アーティスト活動拠点の確立
- ◆ 世界への文化発信によるクリエイティブ人材の誘導
- ◆ ものづくりとアートの融合による“なごや”ならではの新たな価値の創出



想像力を掻き立てる古い倉庫空間
撮影:大洞博靖氏

6 世界運河会議の開催支援

- ◆ 世界に学び、世界に発信
- ◆ “なごや”への投資環境の創出
- ◆ “なごや”が面白い、面白くなりそうだ



倉庫壁面へのデジタル掛け軸
一般社団法人中川運河チャンネルアート提供

“なごや”都市構造転換の嚆矢に

都市の強靱化を通して
「素通り・目帰りのまち」から「逗留・探索のまち」へ
「文化不毛のまち」から「文化発信のまち」へ